

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第2回 理事予定者会議

日時：2013年 10月 29日（火）19：30～22：56

場所：コンセーレ 大ホールB

出席者：

（ 理 事 長 ）：村上(敬称省略 以下同)
（ 直 前 理 事 長 ）：福田(治)
（ 顧 問 ）：
（ 副 理 事 長 ）：朝田、木村(英)、福田(之)、小瀧、須山
（ 専 務 理 事 ）：中島(崇)
（ 監 事 ）：黒川、澤畑、飯野
（ 担 当 常 任 理 事 ）：林
（ 全国大会招致会議議長 ）：羽石
（ 会員拡大会議議長 ）：太城
（ 協働連携特別会議議長 ）：
（ 法令会計審査会議議長 ）：廣田
（ 事 務 局 長 ）：橋本
（ 委 員 長 ）：飯沼、新妻、豊崎、木村(武)、中島(晴)、相馬
（ 副 議 長 ）：宮林、渡邊、山田、福田(弘)、八木、
（ 理 事 ）：船見、青木、横島、梅田、岡田

1. 開会宣言 <中島(崇)> (役職名省略 以下同)
2. JCIクリード唱和 <新妻>
3. JCIミッション唱和・JCIビジョン唱和 <船見>
4. JC宣言朗読並びに綱領唱和 <宮林>
5. 関東地区宣言唱和 <渡邊>
6. 出席者の確認 <橋本>
出席理事32名／38名
7. 議事録作成人並びに議事録署名人の指名 議事録 <総務委員会>
署名人 村上 正高
黒川 崇
澤畑 敦史
飯野 貴道
8. 前回議事録の確認 <中島(崇)>
9. 議題並びに資料の確認 <橋本>

10. 理事長挨拶

<村上>

まずは第2回の理事予定者会議にひととおりお集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。そして2013年度の会期中であります今の時期に、あたりまえのように今日の会議を開催させていただきますことを感謝しながら、今日も有意義な会議をさせていただきたいというふうに思っております。また、今日ふとこの会場に来まして、少し懐かしさを感じました。よく昔ブロックに出向しているころ、この会場を使った記憶が蘇りまして、当たり前にもたこの青年会館で会議をさせていただくことにも非常に感謝をしなければいけないというふうに感じております。といいますのも、これは事務局や財政局を経験された方はご存知だと思うのですが、宇都宮JCはこの青年会館を使うときの金額がかなり安いのです。他の団体、たとえば栃木ブロック協議会を使うよりも、またはるかに安い金額でお貸しいただいているということになります。これはこの財団法人栃木青年会館の厚生メンバーとして、宇都宮JCが払っているわけでありまして、そして毎年理事長がこの青年会館の理事に就任をするということになっております。そしてまた、事務局があります産業会館ですが、こちらもある一等地の場所において非常に毎月安い金額でお借りさせていただいているわけです。これもずっと昔から先輩たちが築いてこられたこの歴史というのがあります。そういった恩恵を我々は授かっているわけでありまして、是非皆様方におかれましては、宇都宮JCの歴史というものをもう一度み直していただいて、委員会に入る毎にそれを教えてあげられるような理事であっていただきたいというふうに思います。

そして、今日の理事会もまた出向者が公務のために欠席をしております。今日は山本顧問とお話をさせていただいたのですが、今、次年度の日本JCでは地区事業説明会の最中でありまして、日本の10地区を全部回っているところでございます。山本顧問におかれましては地区担当常任理事関東地区の会長でございますので、本来であれば地区事業説明会は関東地区以外には行かなくてもよいのですが、すべてまわっておられるそうで、残すところあと二つです。今日は九州に行っておりまして、明日は沖縄に行くと言っておられました。これで10地区全てまわられるということですのでごくありがたいというふうに思いました。宇都宮JCの名前を全国で知らしめていただいているということでございます。そして今日は梅田副委員長も理事会に来ていただいております。私も今年度、JC会館での会議等で梅田くんとはよく会っているのですが、本当に今頑張っています。梅田くんと一緒に出向されているメンバーにも、毎回会議の設営をしっかりといただいております。そして、梅田くんにおかれましては担当しました2014年度のスタッフセミナーも無事終わられたということで本当にお疲れ様でした。というふうに出向者がすでに色々なところでご活躍をし、宇都宮JCの権威を高める行動をいただいております。是非、LOMに帰って来たときは、みんなに「お疲れさま」と労いの言葉を是非かけていただいて、出向者が学んできたことを自分の中に取り込んで、それぞれの会議、委員会のメンバーにお伝えいただければと思います。

そして、冒頭少しまだ残念なところがあったのですが、セレモニーを是非覚えてくださいというお話をしたと思うのですが、まだ完璧に覚えられていない方が多々いらっしゃるように見受けられました。メンバーの見本にならないといけない議長、委員長のみなさんですから、是非これはもう完全に暗記をし、これが世界に共通するJCの理念の部分でもございますので、しっかり意味を理解して行動につなげていただきたいというふうに思います。

そして、本日このあと議題の方にも出てきますが、スローガンを決めさせていただきます。本当に皆様所信を熟読していただいて、理事の皆様一人ひとり候補という形で、スローガンを作成していただいたわけですが、「市民が主役のまちへ～JAYCEEの情熱と連携が市民意識を変革する～」金常任に作成いただいたスローガンにさせていただくことにしました。私の所信でも、市民、地域という言葉が数多く出てきます。我々は市民や地域のために存在している団体ですので、これは非常に有意だなというふうに私も思いましたので、こちらにさせていただいたのですが、皆様方、所信のはじめのくだりに、言動について書いてありますが、「市民が主役の街へ」これ以前もお話させていただいたことがあると思いますが、我々自身もまず市民ですね。我々が襟を正して行動を律し、自らが最良の市民として模

範になる言動をすることで、地域の人々にこの地域がよりよくなるような活動の電波をながしていこうということでございます。2014年度の所信ではありますが、これはJCとしては当たり前のことだと思います。是非、いま一度、多忙の時期ではありますが、今の段階からしっかりと、自らの言動を律するという習慣付けを、是非していただきたいというふうに思います。そして、そういった行動をすることこそが拡大にもつながってくると思うのです。我々が、市民や友人などから憧れられる存在に、是非皆様方になっていただきたい。そして、憧れる存在になっていただくことで、拡大がより広がる。これが運動にダイレクトにつながってくるのだと思いますので、是非心に留めておいていただきたいなというふうに思います。そして、これは来年という話ではないのですが、毎月毎月やはり常に入会を絶たさぬことを意識してほしいと思います。今年のうちから是非例会にメンバーがビジターを誘い連れてきていただきたいというふうに思います。来年にも再来年にもつながりますし、皆様方が呼んできたビジターがまたビジターを呼び、そしてメンバーが増えていくからこそ、宇都宮の街がよくなっていくのだと思いますので、是非ひとりでも仲間を増やすことを常に意識をしていただきたいというふうに思います。

そして最後になりますが、実は私も台湾から帰ってきました、JCI台湾全国大会に出席をさせていただきました。今年数えると昨日のフライトで44回国際線に乗りました。もう二度とないこのような年だと思うのですが、本当にJCでありがたい機会を頂戴したなというふうに思います。色々な国に行きました。4日後にはブラジルに出発をします。今年は世界の大陸で行ってないのはオーストラリア大陸だけぐらいで、様々な地域の人、そしてJCのつながりを持たせていただきました。所信にも記載をさせていただきましたが、本当に我々と同じ志を持って世界のどの地域でもJCメンバーが活躍をしていました。全ては地域のため。地域がよくなりそして人がよくなるためにみんな尊い活動をしております。ちょうど台湾と同じ時期に、一昨日終わったのですがカンボジアの全国大会がありまして、こちらは私の方は行けなかったのですが、カンボジアに昨年JCが正式にできまして、正式に認証されてからはじめての全国大会が今週末に開催されたわけですが、もうプノンペン市内では、1000人を超える住民の人たちと清掃活動をしていると、行ったメンバーから写真で報告をいただきましたけども、本当にしっかりしたJC活動ができています。そしてできているということは、人が育っているということなのです。我々は多分気づかないと思うのですけれど、戦後の焼け野原のフレーズってJCではよく聞くと思うのですね。これはその当時、日本では青年の力っていうのがすごく必要だったということで、これが語り草となっているわけでございますが、これは今発展途上の国やJCでまさにそれが今行われていて、JCが人を育てて、その人がダイレクトに活躍をこれからしていくであろうというところでございます。我々の地域におきましては、また事情は違っておりますが、成熟した日本の社会でありますから、今このニーズにあったJC活動を、是非していただきたいというふうに思います。ただし、常に我々の目的はこの地域をよくする。人を育てることであるので、是非そこをいつも常に心がけて活動をしていただきたいというふうに思います。

本日も会議がまた、有意義な会議になりますように、ご活発なご意見を賜りまして、この会議を進めさせていただきたいと思います。本日もどうぞよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

11. 直前理事長挨拶

<福田(治)>

まずは、第二回の理事予定者会議にお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。そして開催を心からお祝い申し上げます。少し日にちは遡りますが、先ほど村上次年度が11日の地区事業説明会、山本顧問のお話をされておりましたけども、宇都宮での開催をいたしまして、皆様方説明会大変お疲れ様でございました。多分はじめてのことでしょうし、私自身も宇都宮で地区事業説明会というのははじめてのことでありましたが、はじめて参加された方は、もう何をしようかわからないまま1日が過ぎたかもしれません、結構すごいことをやっているものでありました。また、10地区まわるうちの1回目ということで、日本JCの役員の方々の皆さんのプレゼンテーションの質とかそういったことは別として、やはり

その地区会長、山本関東地区会長も手探りの状態での設営。地区協議会の役員の方もスタッフとして、出向している皆さんが、一生懸命この158会員会議所次年度理事長の皆様をお迎えしている姿をみさせていただきまして、本当に頼もしいかぎりでありました。多分皆さんの中で、もう一度地区事業説明会を宇都宮で経験することができる人たちというのは、本当にいるかないかというところかもしれませんが、是非そういう位置づけの日が2014年度の事業としてあったということ、皆さんの中で心に留めていただければと思います。

また、これは2014年度の会議の中で申しわけない話ですが、2013年度の村上上年度がコンセーレの行政出向、宇都宮の行政出向のお話をされておりましたので、ちょっと触れさせていただきたいのですけれども、「城址まつり」の行列ですね。一生懸命やっていた高村委員長はおりませんが、黒川監事におかれましては雨のなかありがとうございました。また、ここ数年の「城址まつり」をみさせていただいているのですけれども、あんなにJCメンバーの皆さんが参加していたのははじめてでございまして、これがよいのかわるいのかはのちほど少しずつ村上上年度と相談して決めさせていただきたいと思いますが、ただひとつと言えるのは、雨を恩着せらぬではありませんが、あれだけの雨の中やっていたにも関わらずあの行列です。ジャパンカップの当日の話ですけれども、皆さん本当に楽しそうにやられておりました。僕は来賓だったので、テントの中で手をただ振るだけだったのですけれども、本当にありがたいかぎりでありました。2014年度も様々な行政出向というものがあります。これは公益社団法人として、地域に我々の存在、そして我々がやっていることのこの凄さをしっかりアピールする機会でもありますので、専務の方から振られることもあるかと思えます。半分以上の理事が行くこととなりますが、これは本当にそれぞれ皆さんの会社の看板を背負っていく部分もあります、何よりも宇都宮JCの看板を背負って、行政の会議、そして行政のイベントに出ることですので、是非ともその際は心してかかっただけければと思います。だからと言って話をいただくもの全部を受けていたのでは我々もやるべきことができなくなることもありますので、その辺はこの専務が取捨選択してもうここは切っていくということも必ずしていいことだと、そしてその時に合わせたものをしっかりとやっていくのが、行政出向の歴史です。あえて専務は一つ切っておりますが、しっかりと目的を達成するようにお願いいたします。

本日この第二回目の理事会予定者会議におきまして、ひとつだけ言葉を贈らせていただきたいと思います。何度か正副や2013年度の会議でお話をさせていただいているのですが、キッシンジャーという政治学者がその言葉で「希望、すべてのどんな夢、どんな偉大な事業も最初は本当に夢でしかない。その夢を何が実現に変えたのか。その原動力というのは希望だけである」と言いました。たとえば農夫はそこに果実がなるという確証がなければ、木も植えないし畑も耕さない。商売も一緒だと思うのです。商売のためにやるわけではありません。我々はこの地域のために運動を繰り広げる段階でもあります。それをする中で自らが成長する機会をえていくわけですので、ただその希望が何なのか、今いる皆さん、この理事会構成メンバーの皆さんが希望であります。今年度の理事長と、直前理事長という立場でみさせていただいている中で、この時期の会議は日程も重なっていますし大変です。でも、しっかりと時間を守り、これだけ本当に元気よく集まっている皆さん。これは、「市民が主役のまちへ」その市民の中の一員であり、皆さんが市民の中の希望であります。今日の新聞にも経済の景気が悪くなっていると感じる人が、少しずつ減っていくという報道がされておりました。少しずつ明るい兆しがみえてきている中、皆さんはJCで様々なことを、おそらく今までも少しずつ学んできたと思います。私はたくさんのお話を学ばせていただきました。それが自分自身の権威性にも、そして仕事にも、家庭にも全てに役立っていると思います。それをまだ全部感じてない人はたくさんいるかもしれませんが、これはJCを一生懸命やってわかることで、そして卒業した先輩からは誰もが同じことをおっしゃると思います。それが信用できないのであれば、騙されたと思ってやっただけでいい。そのつもりがないのであればこの席に座る必要もないし、自分のために自分の時間を使えばいい。でもそうじゃないためにここに集まっているわけです。一点、この2回目の理事会で少し空席が目立つところがあります、顧問は結構ですが、少し私自身が気になります。最低限ラインのそ

それぞれの同じ委員会の皆さんは、何故いまその空席があるのかということを知っていますよね。わかってないのであればすぐにこれは確認してください。皆さんが連携をとってしっかりやっていかないといけないし、同じラインがまずは最初のコミュニティであります。それが広まってこの理事会構成メンバーが、強い強い地位になっていくわけですので、是非ともこのことだけはしっかりとご理解をいただくようお願いしたいと思います。

是非とも本日の理事会は皆様方の英知を結集し、実りある議論を展開していただくよう心よりご懸念申し上げます、今年度理事長の挨拶とさせていただきます。本日もどうぞ最後までよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

12. 2014年度理事長所信(案)読み合わせ

冒頭 村上

【はじめに】	<梅田>
【世界とのつながり】	<豊崎>
【JCは学び舎である】	<八木>
【市民が主役のまちへ】	<岡田>
【市民意識の変革】	<相馬>
【共助の精神】	<山田>
【真の「公」をめざすために】	<横島>
【市民の信頼と社会の負託に応え得る組織】	<福田(弘)>
【未来への希望】	<船見>
【結びに】	<中島(晴)>

※上記を熟読致しました。

13. 協議事項

協-4 その他

<中島(崇)> 削除

協-1 2014年度 事業計画(案)・年間事業フレーム(案)について

- ・専務グループ 法令会計審査会議 事業計画(案) <廣田>
- ・専務グループ 総務委員会 事業計画(案) <飯沼>
- ・専務グループ 渉外委員会 事業計画(案) <新妻>
- ・専務グループ JC運動発信委員会 事業計画(案) <豊崎>
- ・人的交流グループ 宮まつり委員会 事業計画(案) <青木>
- ・人的交流グループ 地域交流委員会 事業計画(案) <木村(武)>

<福田(治)> 「宇都宮JCとホノルル・チャイニーズJCとの関係が希薄になっており、両国間の親善と友好を深め、相互地域の発展につなげる必要がある」とありますが、これは適切な文章ではないと思います。世界会議で会った時は本当に笑顔で話ができる関係性はずっと保っておりますので、ここの中に「関係が希薄になっており」という言葉を入れるのはご一考されたほうがよいかと思ひます。

- ・未来創造グループ 政策委員会 事業計画(案) <中島(晴)>

<福田(之)> 幸せなという表現をするよりは、世界規模でみたら宇都宮は幸せな方向に向かっているのでは、より幸せなというような表現をされた方がよいのではないかと思います。

<橋本> 6行目から9行目に関しまして、文章としては問題ないと思いますが、読む人、聞く人としては非常に長い文章となってしまうためつなぎが悪い感じがします。2つの文章に割っていただくほうが、読みやすく聞きやすい文章になると思います。10行目後半から13行目半もひとつになっています。

・未来創造グループ 青少年育成委員会 事業案計画(案) <相馬>

<八木> 6行目の「市民の市民による市民のための運動」のところになりますが、理事長の所信を引用されるのであれば、まったく同じ文章として句読点をスペースに置き換えたほうがよりスムーズだと思います。

<中島(崇)> 所信と同じ表記で修正していただくようお願いいたします。

<橋本> 冒頭「宇都宮青年会議所が」というふうになっていますが、統一語句の観点から「宇都宮 J C が」にしたほうがいいのかと思います。事業計画だから構わないのかもしれませんが、そのようにしたほうがいいのかと思います。

<福田(弘)> わんぱく相撲宇都宮場所とわんぱく相撲全国大会がありますが、公益がらみの会議体としてみた時に、一括にしたほうが公益事業としてのまとまりがよくなると思います。議案に関してもシステムが変わるので、親議案、子議案というかたちで個別に進めた方が公益の説明としてうまくいくのではないかと思います。

<中島(崇)> 検討させていただきます。

<黒川> 9行目に「全国大会に参加します」とありますが、我々は事業を構築していく立場なので、「参加します」という表現はおかしいと思います。

<木村(英)> 全国大会は7月ではなく8月の頭です。訂正をお願いします。

・全国大会グループ 全国大会招致会議 事業計画(案) <羽石>

<横島> 1行目でターニングポイントと言っていて3行目で転換点と言っているが、両方ターニングポイントに統一した方がよいかと思います。

<羽石> 副理事長、副議長と相談のうえ、検討いたします。

・会員拡大グループ 会員拡大会議 事業計画(案) <太城>

<橋本> 10行目の「新入会員のための J C 基礎研修を必要に応じて必要なだけ実施し」という研修のニュアンスですが、この文章だと必要な分だけしか成長しないのではというふうに伝わりました。この文をあえて入れた理由があれば教えてください。

<太城> 入会するたびにメンバーが増えていくわけですが、その中で J C をまったく知らない人も数多くいると思います。まずその人を対象として、あとはビジターのカウントにもなりますので、ビジターが多ければまた開催し、ビジターがいなければ月に2回ほどなど、そういう状況を鑑みながら対策するということです。

<橋本> その観点ならこの文章は削除してしまってもよいと思います。意見です。

<太城> 検討いたします。

・協働連携グループ 共同連携特別会議 事業計画(案) <篠崎>

<宮林> 言葉遣いですが、3行目の「市民を代表としての言動や」というところは、「市民の代表として」という意味ですか。「市民を」で正しいのでしょうか？

- <須山> 議長に確認いたします。
- <朝田> 10行目に日本J Cの有益なプログラムを実施するとあり、その後にも12行目に日本J Cの研修プログラムを実施していきますとあります。同じ内容が繰り返されているような気がするので変更したほうがよろしいのではないかと思います。意見です。
- <福田(弘)> 5行目に「青年らしく青臭く高みを目指して」とありますが、「青臭く」というのはちょっとネガティブに聞こえるところがあると思いますので、他の言葉に置き換えていただくよう検討してください。
- <須山> 検討いたします。
- <橋本> 朝田副理事長の指摘でもありましたが、繰り返しの文章が多いと思います。3行目の「いけません」の後に5行目でも「いけません」と2回続いているので別のものに変えたほうがよいと思います。また、「いけません」という表現自体、文章としてそぐわないニュアンスを感じました。「なりません」とかそういった文章のほうが、大人な文章かなと思います。それと2行目に「称されますが」とありますが、ここで「が」が付くということは、この次の文章で否定するような状況がある場合に「が」がついてくるのだと思います。次の文章は今後の目標を述べているので、ここでこの文章につなげていくのであればニュアンスがちょっと違うのではないかと思います。
- <飯沼> 1行40文字でお願いしておりましたが、一部41文字になっているところがありました。協働連携の他に総務委員会、法令会計、地域交流委員会も同じなので、後ほど訂正をお願いします。我々総務委員会も気づかなかったことを深くお詫び申し上げます。
- <中島(崇)> この事業計画にお時間をかけ、しっかり揉んでこの18行を書いていただいていることに感謝を申し上げたいと思います。こちらに関しましては、来年の委員会での各会議の運動の姿勢となる文章、中身でございますので、しっかりと委員会でも共有をしていただくと共に、よりよい物になるよう精査をしていただきたいと思います。こちらの事業計画(案)に関しましては、来月11月29日の通常総会の資料として事業計画(案)として掲載する内容でございます。時間が迫ってはおりますが、しっかりと精査をしていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

2014年度 事業計画(案)・年間事業フレーム(案)について

- <中島(崇)> 年間事業フレーム(案)に関しては、総務委員会のところでチェックをしておりますので間違いはないかとは思いますが、皆様の方でもしっかりと確認いただければというふうに思います。
- <村上> 多くの時間を使い、この事業計画(案)を作っていただきまして本当にありがたいことだと思います。少し気になったのは、全体的に所信の言葉を拾いすぎているところだと思います。ありがたいことだと思うのですが、言葉を拾って無理やり繋げているような文章になっているのが全体的にすごく見受けられます。それによって文章が崩れ、変な日本語になってしまっているのので、そこを是非もう一度精査していただきたいと思います。あと、1行目から5行目までが背景、それぞれの委員会が設置された目的が書かれています。最後の3行には、間の10行をおこなうことによってできあがる世界観、その効果を書いていただいています。手法からいっても頭の5行と最後の3行で意味

がつうじるはずなのです。そのような観点を持って全体的にみなおしていただければ、よりよい事業計画(案)になるかと思しますので、よろしく願いいたします。

協一 2 2014年度 1月例会 新春交流会 開催計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき新妻委員長より上程文よみあげ

- <山田> 提供するアイスは何人分ですか。アイスの保冷なども準備して、ある程度長い時間提供できるような体勢をとっていますか。
- <新妻> 1バット4リットルのものを考えております。ひとつ50グラムと計算して80食分ほど考えております。保管の方法は始まる前にホテルの冷凍庫に入れていただき、歓談中になりましたら保冷ボックスに移し変え、ドライアイスを入れてお客様へお配りするかたちになります。
- <八木> 事業概要の3番、参加人数計画のメンバーの1月動総数134名は今年の前年の元となると思うので、ご確認をお願いしたいと思います。現状では159名、卒業生が16名、退会が4名となった場合、139名ではないかなと思います。
- <新妻> 調べなおし修正いたします。
- <中島(崇)> 人数に関しては総務委員会でもう一度しっかりと調べた上で、記載するようにしてください。よろしく願いいたします。
- <廣田> 今回、アイスを次の宇都宮の名物ということで出しているのですが、イチゴのジェラートは結構ありがちだと思います。紅茶味は私も食べた記憶がないのですが、そこでもう一捻りイチゴでないものをみつければと思います。意見です。
- <新妻> イチゴ以外のもので、委員会で再度協議させていただきます。羊羹でもよいのかなと思っておりますので、一度検討させていただきます。
- <林> 同じようなところで、紅茶ジェラートはすごくいい考えだと思うのですが、こちらを提供するにあたってなぜこういったものを提供するかをピーアールするような場はお考えでしょうか。
- <新妻> 屋台のような机を用意してよいかご検討いただいております。そこにテーブルの脇に説明できるようなものを書き、手作りのポップを立ててアピールをしていきたいと思っております。
- <青木> 今年度渉外委員会で私も設営に携わったのですが、イタヤさんの会場で乾杯の際に、ビールなどをホテル側からお持ちするのですが、祝辞を述べられているタイミングにドリンクを運んでいて騒がしく感じました。ドリンクを運ぶタイミングを考えていただければと思います。
- <新妻> 検討いたします。
- <岡田> 今年はPRムービーを流すということで、JC運動発進委員会さんのほうで作製するということになっていますが、どんな内容のものを作製するのかはわかるのでしょうか。
- <新妻> そちらはJC運動発進委員会さんのほうで上程させていただきますので、そのときに内容のほうはわかると思います。
- <中島(崇)> こちらはPRムービーを流すにあたりまして、その議案をJC運動発進委員会の方で作っていただいております。そちらの議案に関しましては、来月の上程というかたちで取り上げさせていただきたいと思しますので、よろしく願いいたします。

- <木村> 受付のコートを預ける場所が毎年混雑すると思うのですが、預かるときに何か工夫をしてコートを出しやすくするとか、あとコートがつまって掛けられているので、見栄えのよいように余裕を持って掛けられる様な仕組みを作ったほうがよいかと思います。
- <新妻> 検討いたします。
- <澤畑> そもそもこの事業は何の目的なのかをしっかりと読んでいただきたいと思います。皆さんの話しているところは本当に細かいところ。重要なところかもしれませんが、まずは何の目的なのか。前回の常任理事会で次年度理事長が「委員長自らが理解しなさい」と言っておりましたが、まったく変化がみられない気がします。ジェラートに関してすごく一生懸命熱弁されていましたが、大半の人は宇都宮の人です。なぜ私たちがここで食のアピールをしないといけないのかというところなんです。根本的にずれているのではないかと思います。今年の工夫の1番も2番も去年もやっていることなので今年の工夫ではない。ということはやはり理解していないのではないかと感じました。本当にこの対外の目的が一番重要なところなので、そこをしっかりと読んで、目的を達成するためにはどうしたらよいか、根本的なところをみんなで協議したほうがスムーズになると思います。それから細かいところの質といったところに入って行くのではないかと思いますので、是非ともその辺をしっかりと読んで、協議していただきたいと思います。提案です。
- <中島(崇)> こちらに関しては専務グループの議案なので、橋本事務局長、そして私も含めまして、もう一度抜本的にしっかりと見直しをした上で、上程をさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

協一 3 2014年度 1月例会 新春交流会 告知計画並びに予算(案)

- <新妻> 字がずれているのはパソコンの関係なので、次回までに修正させていただきます。
- <山田> 来賓招待者リストの件ですが、30番ぐらいから続いて46番ぐらいまでメディア関係の方がいらっしゃると思うのですが、栃木読売のところがございます。本年度わんぱく相撲やダンスの事業において、栃木読売に掲載していただき、わざわざ会館のほうにも資料等持ってきてくださっているメディアさまでありますので、是非郵送のご検討をいただきたいと思います。
- <新妻> 反映いたします。
- <八木> 同じくリストのところですが、101番と104番に同じ人が表記されております。確認されたほうがいいかなと思います。
- <新妻> 修正いたします。
- <朝田> 事業の目的に関しまして、本体議案の目的を乗せた上での子議案の目的というものが載らないとおかしいのではないかと感じました。それと意見の対応のところになります。ただ修正しました、追加しましたけどと内容がわからないので詳細を書いていただきたいと思います。
- <新妻> 修正いたします。
- <廣田議長> 「新春例会に一人でも多く参加していただけるように告知をすることが必要です」とありますが、その一人でも多く参加していただくための工夫というのはどのようにお考えでしょうか。
- <新妻> 検討いたします。
- <羽石> 新春例会の経験者としての意見ですが、審議資料がございます9番の新春交流受付カードならびに10番の来賓用返信はがき裏面ですが、それぞれの記載内容を揃えた方が統一感が出てよいかと思います。あと返信はがきを集計

する際に、団体、会社名だけではなく役職を入れると管理しやすくなると思いますので、一度委員会でご検討いただきたいと思います。

<新妻>

検討いたします。

<中島(崇)>

協議事項2番項で理事長コメントをいただくのを忘れてしまいましたので、お詫び申し上げます。2番、3番合わせまして理事コメントをいただきたいと思ひます。

<村上>

先ほど澤畑監事からもありましたが、目的をもう一度考えてもらい、そのための手法が本当にそれでいいのかというのをどこまでも追求してください。去年、一昨年を参考にするのはよいのですが、そこに捉われすぎず、その目的が、この手法でよいのかというところを、どこまでも突き詰めてほしいと思ひます。それと告知の方は、これは議案の書き方もおかしいと思ひますが、議案をわけている意味をもう少し考えたほうがよいと思ひます。1月の1番はじめの例会になりますので、是非宇都宮JCの運動がしっかり発信されるような設えをよろしくお願ひいたします。

14. 報告依頼事項

<中島(崇)>

報告依頼事項でございますが、コンサーレの時間も30分ほど過ぎておりますので、こちらのほうは各自ご確認ください。変更点のみお伝えします。

報-1 2014年度 スローガン(案)について

<中島(崇)>

理事長からお話ございましたが、金常任のスローガンを記載させていただいております。

報-2 2014年度 基本資料(案)について

報-3 2014年度 グループ構成(案)について

報-4 2014年度 総会・例会・事業担当(案)について

<中島(崇)>

今年は7月例会に関東地区大会例会というものを計画しておりましたが、来年2014年度におきましては関東地区大会が9月に開催されるということが決まりましたので、関東地区大会に関しては、例会ではなく通常の諸大会という形をとらせていただきました。それに伴い、7月の例会は、協働連携特別会議のお日持ちとさせていただきますことになりました。それと9月例会に関しては、9月27日にストリートダンス選手権、こちらを予定しておりましたが、9月27日が関東地区大会当日でございますので、ストリートダンスコンテスト自体の開催日を9月13日に変更させていただきました。

報-5 2014年度 組織図(案)・対外出向者(案)について

報-6 2014年度 年間公式スケジュール(案)について

報-7 2014年度 会議・委員会職務分担表(案)について

<中島(崇)>

こちらに関しては委員会や会議の運営に関わることでございます。特に次年度は、運営幹事、会計幹事というかたちで、幹事を二人にわけて職務を分担

しておりますので、こういった職務であるのかというところも含め、しっかり理事会構成メンバーの皆様にはご確認をいただきたいと思います。

報一 8 2014年度 諸会議要項(案)について

15. 監事講評

<澤畑>

まずは総務委員会設営お疲れ様です。いいですね、机が二つあるというのも。私もそこで話を聞くのかなと思っていたらやはりここなのですね。それでは講評をしたいと思います。まずは新妻委員長の件ですが、さきほどちょっと厳しい意見を言ってしまいましたが、本当にこの新春例会というものが本当に大切な例会でこれがスタートです。理事長のお披露目の場にもなりますし、対外に向けて私たちはこういうふうやっていくのだというところをみせる場でもあります。ここでつまずいたらせっかく皆さんが一生懸命いまから考えている事業も全部駄目になってしまいます。来年の2014年のJ Cがやることはたいしたことないと思われるような委員会になってしまいますので、ここにきていただいている理事のメンバーの皆さんも含め、その辺を考えて協議していただきたいと思言わせていただきました。申しわけございませんでした。

それと今日事業計画の方が上がってきてみたのですが、こちらの方は理事長所信から皆さん委員長が一生懸命考え、委員会ごとにこういうことをやって行くという方向性を書いたものであります。事業目的だったり背景だったりそういったものが書き込まれています。メンバーが目的も背景もわからないと、委員会の中で色んなこといい出し、そうすると委員会が無駄に長くなってしまいます。そういった意味でも理事長所信同様、委員会メンバーにも読み合わせをしていただき事業計画を共有してもらいたいと思います。そしてこの理事会の場ですが、先ほど直前理事長もいいましたけれども、他の委員会の事業計画もしっかりみてること。さっきいった委員会内の話だけでなくこの理事会の場でも無駄な時間が流れずに済み、的外れな質問をしないようになります。こういった目的でこの委員会をやっているのか、そういうことがわかるようになってきますので、しっかりと他の委員会の事業計画も読んでいただきたいなと思います。以上簡単ではございますが、監事講評とさせていただきます。

16. 閉会宣言

<中島(崇)>

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第2回 理事予定者会議議事録

議長：(専務理事) 中島 崇

議事録作成人：総務委員会

議事録署名人：村 上 正 高
黒 川 崇

澤 畑 敦 史
飯 野 貴 道